

# 限りある資源を有効活用するために



ローソンは地球環境の保全および循環型社会の構築を目指し、限りある資源を有効活用するための取り組みを推進しています。

地球を元気に

## 資源の有効活用により環境負荷を低減



### 容器包装における環境配慮

弁当や惣菜の容器包装においても「安全・安心・健康」の考えを取り入れ、容器包装の使用時や製造過程などで有害化学物質が発生することのないよう原材料や設備の改善に取り組んでいます。

環境面では、米飯・惣菜容器の一部にPLA（ポリ乳酸）を採用しています。PLAは、トウモロコシなどの植物を原材料とする生分解性樹脂の一つです。石油原料と異なり、燃焼時に発生するCO<sub>2</sub>を、原料となるトウモロコシが成長時に吸収することから、ライフサイクル全体でCO<sub>2</sub>排出量を削減できます。

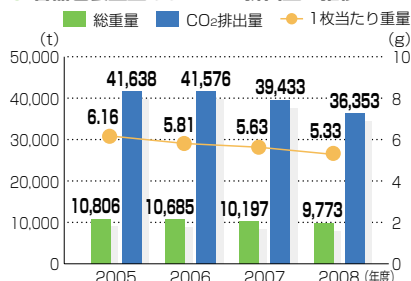
容器包装の省資源にも力を入れています。発泡素材の採用や薄肉化などにより安全面は確保しながら容器を軽量化し、1枚当たりの容器重量を2006年度比8.3%、全体では912tの削減を達成しました。これにより容器包装焼却時発生CO<sub>2</sub>排出量を約5,200t削減したことになります。

削減率では、5.0%の目標に対し12.6%の



PLA(ポリ乳酸)で作ったサラダ容器

### 容器包装重量およびCO<sub>2</sub>排出量の推移



削減実績となりました。

### 商品発注端末用充電電池の再利用

2007年3月から商品発注端末(DOT)用充電電池パックのリサイクルを始めました。

充電電池の中に入っているセルを交換することで、新品同様の使用環境へと復活します。2008年度は年間約6,100本のリサイクルを実施しました。使用済み充電電池内に含まれる希少金属のリサイクルとケースの再使用により、年間で約1tの廃棄物を削減しました。



商品発注端末 (DOT)

### ユニフォームを完全リサイクル

オーナーさんやクルーさんの意見を参考に、2009年秋から新デザインのユニフォームを導入します。それとともに、ユニフォームのケミカルリサイクルも開始します。使用後のユニフォームは、分子レベルで分解・再生するため、廃棄物がほとんど出ません。また、無酸素状態でリサイクルすることでCO<sub>2</sub>が発生せず、環境にやさしいリサイクルが実現します。

この取り組みでは、2015年3月までに約80万着、総重量約22万kgのユニフォームリサイクルが見込まれています。22万kgをリサイクルした場合、そのまま廃棄・焼却した場合に比べ、CO<sub>2</sub>排出量を約48万t削減することができ、

CO<sub>2</sub>排出削減による地球温暖化防止にも貢献します。

新しいユニフォームには、コンビニエンスストア業界では初めてとなる、財団法人日本環境協会認証の回収エコマークが付きます。



### TOPICS

#### ナチュラルローソンの割り箸を国産間伐材に

ナチュラルローソンでは、弁当などをご購入のお客さまに奈良県吉野産のヒノキ間伐材で作った割り箸をお渡ししています。間伐材とは、樹木の成長を促すための間引き作業で伐採された木材のことです。間伐により、樹木の成長が促進され、CO<sub>2</sub>吸収の増加に寄与します。

また、パッケージには広告を掲載し、広告費の一部を間伐の費用として役立てています。間伐材の利用促進と併せて、日本の森林を守ることに繋がります。

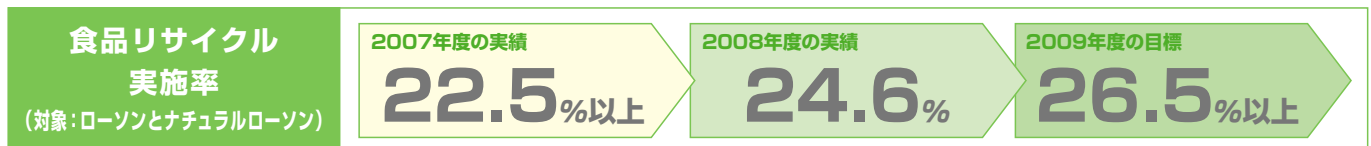


# リサイクル率向上、廃棄物削減のために

店舗からは、商品を梱包する段ボールや販売許容期限を過ぎた弁当やパンといった余剰食品など、さまざまな廃棄物が排出されます。

ローソンは、環境への負担をできるだけ減らすため、廃棄物の発生抑制やリサイクルの推進を行っています。

## 資源循環型社会の構築に向けて



### 食品廃棄物の削減・リサイクル

販売許容期限\*を過ぎた弁当などの余剰食品と、からあげクンなどの調理に使った食用油(廃油)を合わせた食品廃棄物の量は、1日当たり1店舗で約11.6kgになります。この食品廃棄物を減らすために、発生抑制と再生利用(廃油リサイクル、余剰食品の飼・肥料化)、サーマル

リサイクル(熱エネルギー回収)を組み合わせ、取り組んでいます。

2008年度のリサイクル実施率は、24.6%(発生抑制は含まず)でした。今後は2007年度の実績(22.5%)を基準に、2008年度から2012年度まで毎年2%以上の改善を目標に取り組み、拡大を進めていきます。2012年度の目標値は32.5%です。

※販売許容期限：お客さまが商品を購入してから召し上がるまでの時間を想定して「消費期限」の前に独自に設定した期限

することで余剰な商品を作らない仕組みを構築しています。

店舗では、品揃えの適正化による発生抑制を図っています。それぞれの店舗ではストアコンピューターで過去の売れ行き、曜日、天候、地域行事などを確認しつつ品揃えを検討し、ムダな廃棄を減らす努力を続けています。

### 再生利用の推進

2006年1月から廃油のリサイクルを開始し、取り組み店舗を順次拡大してきました。2009年5月末での取り組み店舗数は7,594店舗になります。廃油は産業廃棄物の収集運搬会社が回収し、リサイクル工場で飼料用添加剤(家畜の餌の材料)、建築用塗料、公共バスの燃料(BDF)、無添加石けんなどに再生し

### ● 食品廃棄物リサイクル実施率(4/1~3/31)

	2007年度	2008年度
廃油リサイクル	7,403店	7,599店
飼料化・肥料化	906店	1,013店
熱回収	-	124店
食品リサイクル実施率	22.5%	24.6%

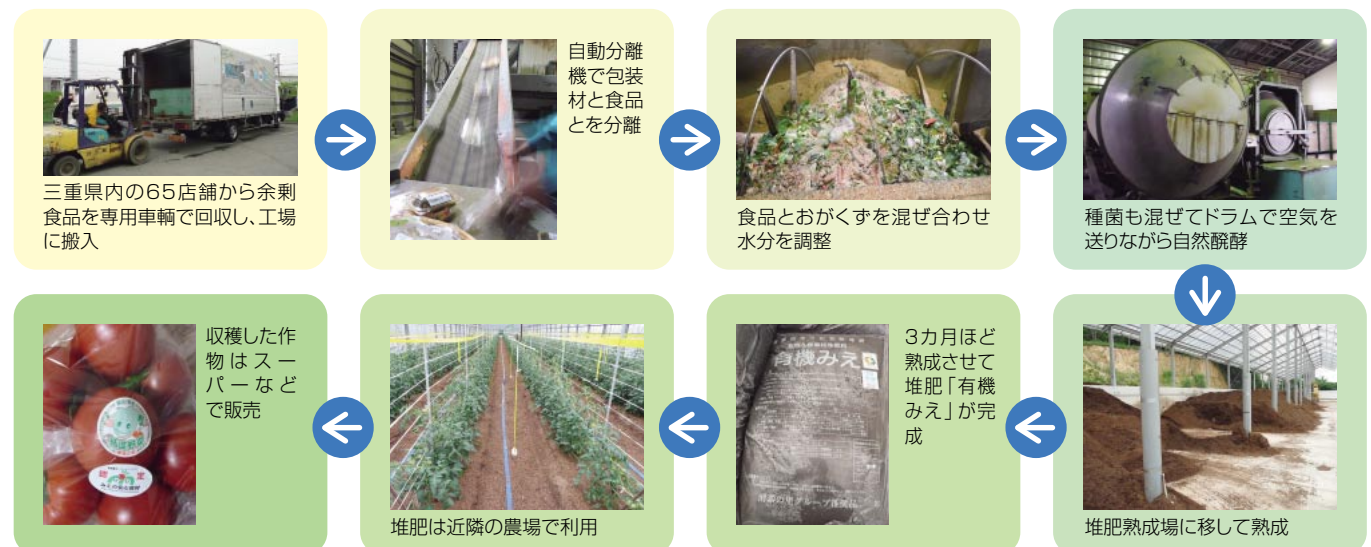
※食品リサイクル法に基づく発生抑制を含めたリサイクル実施率は28.5%となります

### 廃棄物の発生抑制

廃棄物の発生抑制に向けた取り組みを行っています。製造段階では、原材料の投入量、出来高量、盛り付け量など、すべてグラム単位で計量して商品を製造する「生産加工管理システム」を導入

### ● 余剰食品の肥料化リサイクル(協力：有限会社三功)

三重県内の65店舗(2009年5月)を対象に、有限会社三功(三重県津市)の協力を得て食品リサイクルを行っています。店舗から回収した余剰食品はリサイクル工場





ています。

また、販売許容期限を過ぎた弁当や惣菜など余剰食品のリサイクルは、1,022店舗(2009年5月)で実施しています。東京都全域、横浜市、川崎市、京都市(一部)のローソンとナチュラルローソンの店舗から出る余剰食品は家畜(ブタ)の飼料になり、熊本市、名古屋市、青森市、三重県、松江市では肥料にリサイクルしています。なお、ローソンストア100の66店舗でも食品リサイクルを実施しています。

### 生ごみ処理機による減量化

店舗で排出する食品廃棄物を減量するため、直営店の一部に「生ごみ処理機」を49台(2009年5月)導入しています。生ごみ処理機は食品廃棄物の脱水・乾燥を行い、減量します。

### 余剰食品の有効活用

2006年6月から余剰食品を有効活用する取り組みとして、横浜市と協力して同市寿地区の「さなぎの食堂」へ、近隣のローソン2店舗と米飯工場が販売許容期限の過ぎたパンや弁当を提供しています。「さなぎの食堂」では余剰食品を食材として活用し、定食メニューに付加し消費期限が切れる前にお客さまに提供

### ● 資源ごみリサイクル(協力:有限会社三功)

有限会社三功では資源ごみのリサイクルも行っています。三重県内のローソン店舗から回収したペットボトル、缶、ピンは分別され、資源として生まれ変わります。



店舗から回収した  
資源ごみ



分別機に入れてペットボ  
トル、アルミなど資源ごと  
に分別



ペットボトルは粉碎して「リ  
サイクルプラスチック原料」  
に再生

しています。

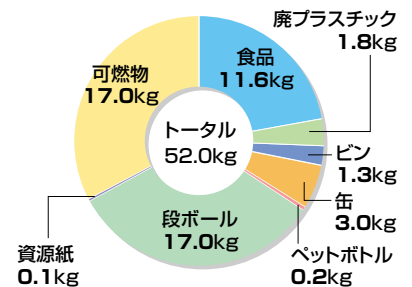
### 店舗での廃棄物の排出量

店舗で廃棄物の実態調査\*を行ったところ、1日1店舗当たりの排出量は52.0kgでした。種類別にみて最も多いのは、紙くず・割り箸・包装紙などの「可燃物」と、商品の梱包に使用された「段ボール」で17.0kg、続く「余剰食品」が11.6kgでした。排出場所で見ると、「店内」が約7割、「店外(店頭クリーンボックス)」が約3割でした。家庭ごみの持ち込

みにより、「店外」から排出される廃棄物の割合は年々増加する傾向にあります。

※対象店舗:東京都内343店舗  
期間:2008年4月~2009年3月

### ● 廃棄物実態調査結果(1日1店舗当たりの平均廃棄物量)



### お取引先さまの声

#### リサイクルは生産活動

有限会社 三功 営業係長

ま からのたかし  
真柄隆司さん

わたしたちは生ごみの処理をしているのではなく、商品の生産活動を行っていると考えています。生ごみの分別をしっかり行い、良い堆肥の製造を心がけています。良い堆肥を作らないと農家の方たちは購入してくれません。おかげさまで堆肥の引き合いは多く、出荷が間に合わない状態です。

農作物の生産・販売を手掛けるグループ会社が、スーパーに専用の売場を持っており、当社の堆肥で作った野菜を並べています。トマトは陳列後30分もしないうちに完売してしまいます。フルーツのような味がするトマトだといって野菜嫌いな子どもたちにも好評です。



# お客さまと一緒に取り組む環境活動

マチのお客さまにとって身近な存在であるコンビニエンスストアとして、日々の生活の中でできる環境活動を提案し、お客さまと一緒に持続可能な社会の実現に向けて取り組んでいます。



## レジ袋の削減へ「ケータイバッグ運動」を展開

1店舗当たりの  
レジ袋の使用重量

2007年度の実績

696 kg

2008年度の実績

696 kg

2009年度の目標

612 kg

### ケータイバッグの延べ配布枚数は 200万枚を突破!

ローソンではレジ袋を削減するために、購入頻度の高い弁当とペットボトルがぴったり収まるサイズのケータイバッグ「コンビニecoバッグ」を作成しました。多くのお客さまにバッグを携帯していただくために、2007年3月から一部のローソン店舗で無償配布をスタート。また、バッグの仕様を公開して賛同企業を募り、社外での普及も進めてきました。運動をスタートして2年あまりで配布枚数は200万枚を超えました。

#### ● ケータイバッグの配布実績

ローソン店舗およびグループ等  
1,360,000枚

ご協力企業・団体による作成  
649,000枚

配布総枚数  
合計 2,009,000枚

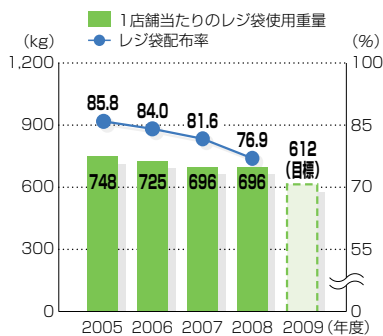
(2009年2月28日現在)

### 1店舗当たり使用重量 32%削減を目指す

2006年9月に環境省と締結した「環境保全に向けた取り組みに関する協定」で、ローソンはレジ袋を2008年度までに2005年度比で20%削減する約束をしました。

2008年度は、成人識別ICカード「taspo(タスポ)」が導入された効果もあって客数が増大し、1店舗当たりのレジ袋使用重量は2005年度比7.0%の

#### ● 1店舗当たりのレジ袋使用重量



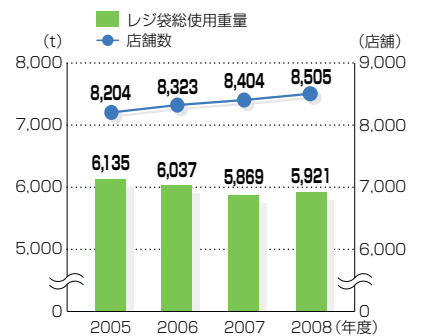
削減に終わりました。しかしお客さま1人当たりのレジ袋使用重量は13.5%削減しており、従来の店舗スタッフの声かけやポスター、店内放送などでの告知、ケータイバッグの配布が一定の効果を生んでいると考えています。

ローソンではこれらの施策を組み合わせ、2009年度は1店舗当たりのレジ袋使用重量を2000年度比32%削減(日本フランチャイズチェーン加盟コンビニエンスストア12社統一の削減目標)を目指します。

### お客さまのご協力で レジ袋の削減を実現

2008年度より北海道全店などで、レ

#### ● レジ袋総使用重量



ジ袋の使用を辞退したポイントカード会員のお客さまに1ポイントを進呈する取り組みをスタート。これにより、レジ袋の配布率\*が取り組み前と比較して8.6%減りました。

また、京都大学のレジ袋の削減に向けた取り組みに賛同し、大学構内の店舗において2008年1月からレジ袋を必要な方にのみお渡しする方式に変更しました。ケータイバッグの販売やレンタルも行うことにより、レジ袋の配布率は取り組み開始前の63.8%から2%(2008年1月~12月の平均)に減りました。

\*配布率: レジ袋仕入れ数÷客数

#### TOPICS

### 人気フィギュアがコンビニecoバッグ普及に寄与

映画「エヴァンゲリオン新劇場版:破」とタイアップし、人気キャラクター『綾波レイ』のオリジナルフィギュアを2009年春、販売しました。コンビニecoバッグを片手にマルチメディア情報端末「Loppi」を操作する姿を表現し、普及を後押ししました。





阪神タイガースとローソンの  
ロゴが入ったオリジナル  
ケータイお箸も  
作成

## 割り箸の削減へ「ケータイお箸運動」を推進

1店舗当たりの  
割り箸の使用量

2007年度の実績

56,636膳

2008年度の実績

55,264膳

2009年度の目標

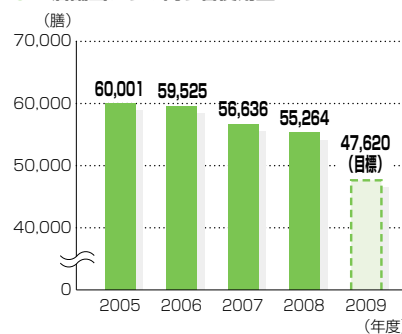
47,620膳

### 割り箸の削減に新たな ライフスタイルを提案

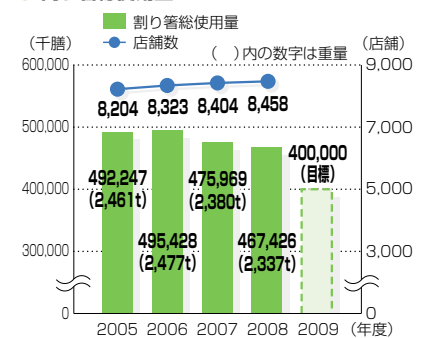
ローソンでは不要な割り箸をお客さまにお渡ししないよう、店舗スタッフが割り箸の要不要を確認しています。また、ポスターの掲示や店内放送などにより、お客さまに割り箸削減へのご協力をお願いしています。

ローソンはこれらの施策を通じて、2009年度までに2006年度比20%の割り箸使用量削減を目指しています。

#### ● 1店舗当たりの割り箸使用量



#### ● 割り箸総使用量



※割り箸については、ナチュラルローソン店舗において国産間伐材を使用した割り箸普及を推進しているため、対象から除外しています

### ケータイお箸で バットの森づくり

2007年4月から、つねに持ち歩いていつでも使えるケータイお箸「みどりのかけ箸」の普及をスタートしました。

このお箸は、ミズノテクニクス株式会社とオークヴィレッジ株式会社の協力を得て、プロ野球のバットに使われるアオダモの不適合材を有効活用して製作しています。

これまで、このケータイお箸はマルチ

メディア情報端末「Loppi」での販売、社員への配布で15,000膳、また賛同企業の協力により18,000膳が普及しました。

ケータイお箸は森林の保護・育成にも役立っています。お箸1膳の普及につき100円をNPO法人ドングリの会に寄付しています。生長が遅いうえ、これまでほとんど植林が行われてこなかったアオダモの保護・育成のため、「バットの森」を支援していきます。

### 森林保全に向け国産材を活用

ナチュラルローソンでは国産ヒノキの間伐材を使用した割り箸を提供(ナチュラルローソンの割り箸についての詳細はP14を参照)。割り箸以外でも、地元の木材を使用した店舗の建設や事業報告書などの本部が発行する冊子に国産間伐紙を使用。国産材の積極的な活用で、森林保全およびCO<sub>2</sub>吸収促進に取り組んでいます。

#### TOPICS

##### 「ケータイ運動」がW受賞

マイバッグやマイ箸を持ち歩く「ケータイ運動」が2008年10月、3R\*推進協議会が主催する「平成20年度リデュース・リユース・リサイクル(3R)推進功労者等表彰」において、「経済産業大臣賞」を受賞しました。

また、2009年1月、「ケータイバッグ運動」が「平成20年度 容器包装3R推進環境大臣賞「優秀賞」」を受賞しました。

※3R: Reduce(リデュース=廃棄物を出さない)、Reuse(リユース=再使用する)、Recycle(リサイクル=再資源化する)の頭文字を表します。廃棄物をできるだけ出さないうえに限りある資源を有効に繰り返し使う循環型社会を目指す考えです



経済産業大臣賞



環境大臣賞「優秀賞」

## ローソン「緑の募金」—お客さまの善意が育む森づくり運動

ローソンファミリーが参加した  
2008年度の緑化事業

参加事業数

137事業

森林整備 71事業  
学校緑化 64事業  
海外緑化 2事業

延べ参加人数

1,387人

### 18年間続けている ローソン「緑の募金」

CO<sub>2</sub>の吸収・貯蔵、土砂災害の防止、水の保全など、さまざまな働きを持つ森林を育成するため、ローソンは1992年からローソン「緑の募金」活動を展開しています。全国の店舗に寄せられたお客さまの寄付は、社団法人国土緑化推進機構を通じて、国内外のさまざまな森林整備活動を支援しています。これらの活動には、加盟店のオーナーさんやクル

ーさん、社員も参加しています。

お客さまからの寄付にローソン本部の寄付金を加えた累計金額は27.8億円(2009年2月末日現在)になり、支援した森林整備活動の件数は累計で国内外2,017カ所、面積は5,328ha、植樹や間伐など手入れした樹木の本数は約1,332万本になります。

※面積・本数は、ローソン「緑の募金」総額および「緑の募金」全体の活動実績から一定の仮定のもとに試算したものです

います。また、毎年この日に合わせて全国のローソン店頭で花のたねを配布しており、2009年は「マリーゴールドのたね」を全国で約90万名さまにプレゼントしました。



### ローソン花と緑の日

ローソン「緑の募金」とその森林整備活動のシンボルとして、2001年より5月の第3日曜日を「ローソン花と緑の日」と定めています。1996年の台風17号による被災地34haを、「富士山ローソンの森」とし、一般のお客さまやオーナーさん、クルーさん、社員とその家族などが参加して、自然の森に復元するための植樹、枝打ちなどの育樹作業を行って

### 「富士山での森づくり」参加者の声 自信につながる社会貢献

静岡敷地店 オーナー  
いしづかなおみ  
石塚直美さん

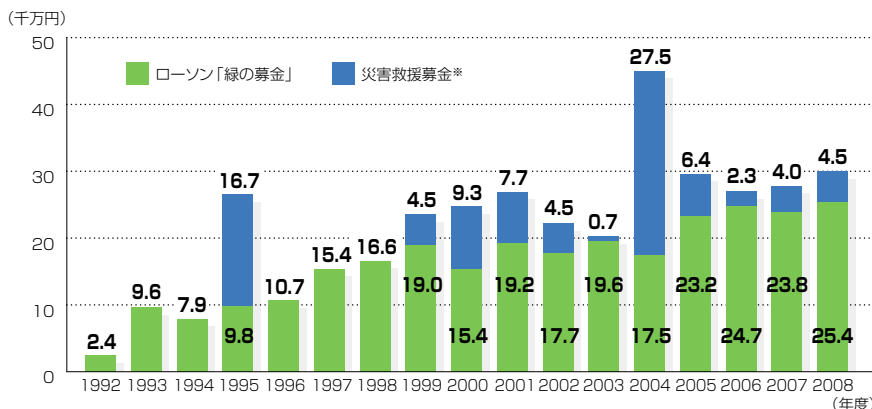
普段、お店にいと自然にふれあう機会はなかなかありません。自然の中に入れば爽快感を満喫できます。そのため、活動には何人かのお店のクルーさんも連れていきます。こうした社会貢献活動に参加するためには、しっかりとしたお店の運営体制とある程度のゆとりが必要で、活動に参加できることはとても幸せなことであり、日々の自信にもつながっていきます。



写真右から2人目が石塚オーナー



### ● ローソン「緑の募金」寄付金額の推移



※ローソン「緑の募金」は、大規模な災害が発生した場合、「災害救援募金」に切り替えられます(災害救援募金活動についてはP33を参照)



## 2008年度は国内135カ所・海外2カ所で緑化事業を展開

オーナーさん、クルーさん、社員が参加した2008年度(2008年3月1日~2009年2月28日)

の緑化事業は、国内135カ所、海外2カ所でした。活動の内容は植樹、間伐、枝打ち、下草刈りなどです。


雨や雪、急斜面での作業などさまざまな環境の中で自然とふれあいながら気持ち良く活動しました。

北海道地方		
北海道	伊達市	だて緑と花のまつり事業
	豊浦町	北海道シュタイナー学園
	洞爺湖町	洞爺湖サミット50日前カウントダウン植樹祭
	洞爺湖町	北海道洞爺湖サミットの森づくり
	函館市	21世紀の道南の森づくり
	乙部町	乙部の森と川と海を美しくする事業
	江別市	野幌小学校
	湧別町	芭露小学校
	帯広市	開西小学校
	積丹町	「元気の森」を「みかくの森」にしよう
	月形町	地球温暖化の防止対策を目的とした人工林・里山林の整備
	美幌町	赤ちゃん誕生記念植樹
	滝川市	石狩川流域300万本植樹運動
	津別町	林業体験及び緑の募金活用事業
	白老町	北の里山人工林間伐ボランティア体験会
東北地方		
青森県	青森市	浅虫小学校
	深浦町	美しい森づくり・松くい虫防除帯の森づくり
	つがる市	つがる市合併3周年記念植樹
岩手県	花巻市	花巻養護学校
	北上市	和賀西小学校
秋田県	潟上市	天王南中学校
	羽後町	ふれあい広場着工記念植樹祭
	美郷町	金沢小学校
山形県	西川町	源流域の緑を守るボランティア活動事業
	鶴岡市	栄小学校
	上山市	南小学校
	西川町	国民参加による間伐及び間伐材の利用促進事業
宮城県	石巻市	金華山植林・森林整備事業
	大崎市	国民参加による森林再生及び森林保全事業
福島県	石川町	南山形小学校
	天栄村	広戸小学校
関東地方		
茨城県	日立市	MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト 叻川山市民の森「ドングリの木植樹会」
	牛久市	神谷小学校
栃木県	さくら市	都市住民がはまる林業体験と里山の保全活動
	さくら市	森林を楽しむ会の林業体験活動
	宇都宮市	MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト 宇都宮植樹会
	日光市	足尾小学校
群馬県	みなかみ町	ふれあいの森・森林整備活動
	高崎市	乗附小学校
埼玉県	さいたま市	大宮高校・命の森づくり
	さいたま市	仲町小学校
	さいたま市	下落合小学校
	さいたま市	針ヶ谷小学校
	秩父市	花粉の少ないカエデの森づくり事業
東京都	八王子市	高尾の森植樹祭
	港区	青山小学校
神奈川県	横浜市	豊島区 巢鴨小学校 高田小学校 倉田小学校
	横浜市	厚木市 落合八幡神社千年の杜づくり
	横浜市	相模原市 依知南小学校 光が丘小学校
中部地方		
新潟県	阿賀野市	里山間伐材利用促進事業
	佐渡市	鬼太鼓の森づくり森林整備活動
富山県	上市町	陽南小学校
	滑川市	南部小学校
石川県	白山市	緑の環境を守るボランティア活動事業
	金沢市	新神田小学校
	穴水町	穴水小学校
福井県	福井市	本郷小学校
山梨県	笛吹市	一宮西小学校
長野県	中野市	平野小学校
	小川村	里山体験講座・里山の手入れをしよう
	飯田市	上久堅小学校
岐阜県	揖斐川町	揖斐川流域住民による水源「権現の森」づくり事業
	可児市	南帷子小学校
静岡県	静岡市	谷津山景観再生事業
	富士宮市	富士山ローソンの森づくり事業
	新居町	浜名特別支援学校
	牧之原市	萩間小学校
	伊東市	荒廃森林の機能回復と間伐材等活用事業
	清水町	清水小学校
愛知県	豊川市	東部小学校
	半田市	亀崎小学校
	瀬戸市	猿投の森での森づくり活動
	蒲郡市	三谷小学校
三重県	亀山市	亀山東小学校
	いなべ市	森林に行こう、樹木を楽しもう
近畿地方		
滋賀県	近江八幡市	武佐小学校
	西浅井町	山門水源の森ボランティア活動
京都府	南丹市	森林施業、林業生産等の体験活動と森林整備事業
	京丹後市	豊栄小学校
	南丹市	炭焼き人養成講座
奈良県	奈良市	万葉の森づくり植林祭
大阪府	泉南市	泉南の里山を大切にしよう会
	豊中市	第十五中学校
	泉佐野市	MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト 泉州だんじりの森植樹祭
	池田市	五月山をカプト山に
	兵庫県 宍粟市	ドングリげんきの森をつくる会植樹会
	和歌山県 岩出市	根来山げんきの森薫煙間伐材活用事業
中国地方		
鳥取県	鳥取市	津ノ井小学校
	鳥取市	浜坂小学校
	米子市	MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト クト米子植樹会
島根県	松江市	里山再生とバイオマスエネルギーの地産地消の取り組み エコキャンプ2008
岡山県	新見市	東鶴山小学校
	備前市	馬屋上小学校
広島県	岡山市	三景園植樹祭
	三原市	芦田川水源の森づくり
	府中市	芦田川水源の森づくり
	府中市	伊勢丘小学校
	福山市	広瀬小学校
	広島市	真亀小学校
	広島市	真亀小学校
山口県	山口市	氷上山王社跡記念植樹
四国地方		
徳島県	那賀町	那賀奥森林整備事業
香川県	まんのう町	搬出間伐実技講習会
	高松市	東植田小学校
	東かがわ市	本町小学校
愛媛県	今治市	蒼社川流域住民と次代を担う 青少年等による水源の森造成事業
	内子町	間伐材の利用を通じた生命の水を 育む森林づくり事業
	高知県 いの町	未来の森作り事業
	高知市	一宮東小学校
九州地方		
福岡県	築上町	豊前海に注ぐ源流の森づくり
	那珂川町	片縄小学校
	志摩町	荒廃した竹藪からの 里山再生プロジェクト
	行橋市	稗田小学校
	大村市	福重小学校
長崎県	佐賀市	中部小学校
佐賀県	熊本市	山ノ内小学校
熊本県	八代市	植柳小学校
	阿蘇市	「熊本水源の森」環境整備事業
	あさぎり町	山村交流に関わる森林活性化活動
	南阿蘇村	白水小学校
	合志市	MOTTAINAIキッズ植林プロジェクト エクト合志植樹会
	宇城市	三小つどいの森づくり
大分県	竹田市	荻小学校
	日田市	中津江育林・ 森林ボランティア事業
	日田市	間伐材の新たな利用による 源流の森保全
鹿児島県	鹿児島市	甲突川上流植林プロジェクト
	鹿児島市	美しい森林を育てるふるさとの森づくり
	いちき串木野市	串木野小学校
	霧島市	美しい河畔林整備事業
沖縄県	国頭村	首里城古事の森育成事業
	読谷村	渡慶次小学校
	那覇市	那覇中学校
海外		
中華人民共和国	大同市	黄土高原緑化
ラオス人民民主共和国	サイヤブリー	MOTTAINAIキッズ 植林プロジェクト ノンサワン小学校

# ローソンの環境活動報告

## 環境活動の目標と実績

### ● 2008年度の環境実績

項目	取り組み項目	目標	達成状況	達成度 <sup>※1</sup>
省エネルギー	店舗空調・要冷機器の電気使用量削減	既存店向けの省エネ機器約1,500店舗導入(累計約3,000店舗)	新規1,768店舗、累計3,253店舗導入	達成 
		新規店舗向け省エネ機器を新規店舗の90%に導入	新規出店452店舗中430店舗導入、導入率95%	達成 
	配送車輛のエコドライブの推進と低公害車・エコタイヤ導入促進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減および有害物質の削減	1店舗当たりのCO <sub>2</sub> 排出量 2007年度比1.0%削減 (▲91kg-CO <sub>2</sub> /店)	1店舗当たりのCO <sub>2</sub> 排出量 2007年度比3.2%削減 (▲291kg-CO <sub>2</sub> /店)	達成 
	社有車のエコ&セーフティドライブの推進	目標設定および活動計画策定	エコ&セーフティドライブの推進体制の確立および燃費の改善	△
	地球温暖化防止(CO <sub>2</sub> 排出量の削減)の全社推進	CO <sub>2</sub> 排出量原単位(延べ床面積×営業時間) 1990年度比22.3%削減	CO <sub>2</sub> 排出量原単位60.3g-CO <sub>2</sub> /m <sup>2</sup> ・h 1990年度比22.7%削減	達成 
省資源	レジ袋総使用量の削減(店舗でのお客さまへの声かけによる削減)	1店舗当たりの使用重量 2006年度比17.2%削減	1店舗当たりの使用重量 <small>(参考)1店舗当たりのレジ袋使用重量2000年度比22.7%削減、配布率76.9%(レジ袋枚数/客数)</small> 2006年度比4.0%削減	×
	割り箸使用量の削減(店舗でのお客さまへの声かけによる削減)	1店舗当たりの使用膳数 2006年度比10.0%削減	1店舗当たりの使用膳数 2006年度比6.9%削減	×
	①容器の軽量化推進 ②非プラスチック包材(紙・グリーンプラ等)の積極採用	包材焼却時発生CO <sub>2</sub> 2006年度比5.0%削減	包材焼却時発生CO <sub>2</sub> 2006年度比12.6%削減	達成 
	販促資材の効率的な作成と納品によるムダの削減	1店舗当たりの資材納品数5%削減と予備資材の廃棄量2007年度比5%削減	1店舗当たりの資材納品数 2007年度比1.5%削減 資材廃棄量 2007年度比13.7%削減	△
廃棄物の削減	食品廃棄物の削減、リサイクル	食品廃棄物のリサイクル実施率2008年度平均26%以上 ①廃油リサイクル 7,750店 ②飼料化・肥料化リサイクル 1,400店 ③生ごみ処理機 61台	食品廃棄物のリサイクル実施率24.6% <sup>※2</sup> ①廃油リサイクル 7,599店 ②飼料化・肥料化リサイクル 1,013店 ③生ごみ処理機 50台 ④サーマルリサイクル 124店	△
地域社会貢献	ローソン「緑の募金」による募金活動の継続	①全店での募金活動 ②緑化事業への参加	①2008年度募金額 2.5億円 累計募金額 27.8億円 ②緑化事業 年間137箇所	達成 

※1 達成度：定量目標の評価：100%達成の場合： 、70%以上達成の場合：△、70%未満の場合：×  
定性目標の評価：実施(実行)完了した場合： 、実施(実行)途中の場合：△、未実施(未実行)の場合：×

※2 食品リサイクル法に基づく発生抑制を含めたリサイクル実施率は28.5%となります

### ● 2009年度の環境目標

項目	取り組み項目	目標(2009年度)
省エネルギー	店舗空調・要冷・照明機器の電気使用量削減	新規店舗向け省エネ機器を新規店舗の90%に導入
		新規店舗の90%に調光システムまたはLED照明器具の導入
	配送車輛のエコドライブの推進とエコタイヤ導入促進によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	1店舗当たりCO <sub>2</sub> 排出量 2007年度比4%削減(▲364kg-CO <sub>2</sub> /店)
	①社有車のエコ&セーフティドライブの推進 ②電気自動車の導入によるCO <sub>2</sub> 排出量削減	①社有車燃費 2008年度比10%改善 ②電気自動車40台導入
	店舗機器の省電力化による店舗電気使用量の削減	新店舗機器の年度内導入 月当たり電力消費量 326kW/店の削減
地球温暖化防止(CO <sub>2</sub> 排出量の削減)の全社推進	①CO <sub>2</sub> 排出量のデータベース構築 ②省エネ店舗モデルの構築	
省資源	レジ袋総使用量の削減	①お客さまへの声かけおよびポイント制度拡大による削減 ②ケータイバッグ運動の推進 1店舗当たり配布率 2008年度比3%削減(レジ袋使用重量2000年度比32%削減)
	割り箸使用量の削減	①お客さまへの声かけによる削減 ②ケータイお箸運動の推進 1店舗当たりの使用膳数 2006年度比20.0%削減
	①容器の軽量化推進 ②非プラスチック包材(紙・グリーンプラ等)の積極採用	包材焼却時発生CO <sub>2</sub> 2006年度比7.0%削減
	店舗配布帳票・伝票の削減	年間8,000万枚の紙媒体削減
	販促資材の効率的な展開と廃棄時の法令遵守	掲出基準に基づいた資材展開、廃棄時の法令遵守
廃棄物の削減	食品廃棄物の削減、リサイクル	食品リサイクル実施率2007年度比4%以上の改善(26.5%以上)
地域社会貢献	ローソン「緑の募金」による募金活動の継続	①全店での募金活動 ②緑化事業への参加
普及・啓発	お客さまと取り組む地球温暖化防止(CO <sub>2</sub> オフセット運動の推進)	①CO <sub>2</sub> オフセット(ポイント・Loppi)の推進 ②CO <sub>2</sub> 排出権付商品の販売継続 ③カーボンフットプリントの研究



## 環境会計

対象期間：2008年3月1日～2009年2月28日／集計範囲：(株)ローソン単体および加盟店

単位：千円

主な取り組みの内容		費用	投資額	効果
環境保全	エコパック、自動照明調光システムなど省エネ機器導入費	-	4,905,957	省エネ効果 34,407,654kWh
	産業廃棄物処理費	417,110	-	法令遵守
	店舗の廃棄物処理費	3,832,836	-	法令遵守
	食品リサイクル(飼料化・肥料化・廃油リサイクル・減量対策)等費	669,090	-	5,770t分の飼・肥料に活用
	フロンガスの回収・破壊等の費用	59,467	-	オゾン層の保護、地球温暖化防止
研究開発	人工知能、電気自動車の新技術導入実験に係る投資と費用	7,440	13,076	省エネルギー
管理・維持	環境マネジメントシステム運用費	2,501	-	環境活動の推進
	容器包装リサイクル法再商品化義務委託料	292,682	-	資源の有効活用
	環境広告、啓発活動、教育、環境報告書制作に係る費用	91,606	-	環境活動の普及啓発
社会活動	(社)国土緑化推進機構やNPOへの寄付金	21,671	-	社会貢献活動の支援
	緑化と清掃の活動にかかわる費用	13,816	-	地域の緑化と美化

※1 店舗の廃棄物処理とリサイクルの費用は標準的な店舗の数値をサンプルとして推定計算しています

※2 交通費は支出目的別に配分しています

## グループ会社の環境への取り組み

### 株式会社ローソン・エイティエム・ネットワークス

#### 新型ATMへの切り替えてCO<sub>2</sub>を削減

2009年5月末現在、38都道府県でATMを約6,200台展開する株式会社ローソン・エイティエム・ネットワークスは、新型ATMへの切り替えを実施しました。新型ATMは、明細票1ロール当たりの枚数を1.5倍に増やし、メンテナンス回数を削減することなどにより省エネに努めています。



### 株式会社ローソンエンターメディア (旧：株式会社ローソンチケット)

#### 音楽イベントで「緑の募金」を呼びかけ

コンサートやイベント等を通じ、国内外の森林整備活動を支援する取り組みを実施しています。「NATURAL Songs」のコンサート会場で募金を呼びかけたほか、奈良県の薬師寺で開催された音楽イベント「Music Tree Live」では、「音楽で森をつくろう」という主旨のもと、チケット代金の一部をローソン「緑の募金」に寄付するなどの活動を行いました。



### 株式会社九九プラス

#### レジ袋などの削減への取り組み

「シングルプライス」「適量・小分け」をテーマに「SHOP99」などの店舗約900店を展開する株式会社九九プラスは、省資源のため、店舗でレジ袋や割り箸、スプーンの削減に取り組んでいます。店内でオリジナルの告知物を掲出するとともに、レジ袋や割り箸が必要かどうかを確認する声かけを実施しています。

